



平成28年2月3日

各位

上場会社名 株式会社総医研ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 小池 眞也
 (コード番号 2385)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 田部 修
 (TEL 06-6871-8888)

第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月12日に公表いたしました平成28年6月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、平成28年6月期第2四半期決算は、平成28年2月10日(水)に発表する予定であります。

記

● 業績予想の修正について

平成28年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,400	△40	△40	△20	△0.76
今回修正予想(B)	1,370	△21	△16	△32	△1.24
増減額(B-A)	△30	19	24	△12	
増減率(%)	△2.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年6月期第2四半期)	1,333	△145	△141	△147	△5.64

修正の理由

連結売上高につきましては、健康補助食品事業の売上高が、広告宣伝活動の効果が想定を下回ったこと等から計画未達となったことを主因として、上記のとおり業績予想数値を下回る見通しとなりました。

連結営業利益および連結経常利益につきましては、売上高が計画未達となった健康補助食品事業においても費用を抑制的に運営したことにより計画どおりの進捗となったことに加え、海外販売およびインバウンド関連の国内卸販売が好調であった化粧品事業の営業利益が計画を上回ったこと等から、業績予想数値よりも損失が縮小する見通しとなりました。一方、親会社株主に帰属する連結四半期純利益につきましては、各事業の利益寄与の割合が想定と異なったために税金費用が計画を上回ったことを主因として、業績予想数値よりも損失が拡大する見通しとなりました。

※本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき、不確定要素については仮定を置いた上で当社にて作成したものであります。実際の業績数値は、様々な要因により上記数値と異なることがあります。

以上